

ジョイント 動向2011



ニッタ エコジョイント
工期、コスト、廃棄物減に関心

ニッタは傷んだところだけ取り替えれば引き続き継続利用できるエコなジョイントを40年前から展開している。

これまでは、全面的に取り替える依頼が多かったが、近年は、徐々に部分取り替え機能への関心が高まってきており、実際の工事が増えてきているという。背景には、工期を短縮したい、工事規

模や騒音、廃棄物、コストなどを抑制したいという、発注者の傾向があるようだ。

取り替え可能なエコジョイントは「トランスフレックスジョイント」と「ワンターフフレックスジョイント」。製品の定尺が1800^{mm}と一定であること、本体を路面にボルトで止める構造であること、などにより部分的

な本体の取り替えが、小規模な工事のできる仕組み(写真)。同社の他の製品で通常補修工事(ジョイントを全面的に取り替える)した場合と比較すると、廃棄物や機材、騒音がかなり少なく抑えられ、交通規制も短時間化しているという。

ほかに主な特徴は、①ゴムのせん断変形により、橋軸方向、橋軸直角方向、段差にも追従し、高い止水性能と静かな走行音を実現する、②施工は桁の切り欠き寸法などに柔軟に対応できる、③施工時の温度変化には専用アジャスターで拡張、圧縮が可能、④除雪グレーターにも対応可能など。

(根津寿子)